【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	社会
西村順子	開講時期	後期	必修·選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## 【<概要>又は<一般目標:GIO>】

集団援助技術(グループワーク)について、理論、価値・倫理および方法・技術について体系的に学ぶ。

## 【〈学習目標〉又は〈行動目標:SBO〉】

- 1. グループとは何か、グループの構造、グループの発達、グループと個人の関係、個人にとってグループの意義を理解する。
- 2. 集団援助技術 (グループワーク) 成立過程と諸理論 (アプローチ) について理解する。
- 3. 集団援助技術(グループワーク)の援助展開過程を理解する。
- 4. 集団援助技術(グループワーク)の援助展開過程で用いられる専門技術についてを理解・習得する。

⊨					
回数	授業計画又は学習の主題				
数 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	授業計画又は学習の主題  オリエンテーション グループとは何か。ソーシャルワーク方法論の中でグループを活用する意味を学習する。 人間の成長・発達とグループとの関わりの意義を学習する。 グループワークの成立過程を学習する。 グループワークの定義・原理・原則を学習する。 グループワークの定義・原理・原則を学習する。 ソーシャワーカーの媒介機能と相互援助システムについて学習する。 グループワークの実際を学習しグループワークの理解を深める。 グループワークの展開過程について学習する。 グループワークの展開過程で用いられる専門技術について学習する。 グループワークの展開過程で用いられる専門技術について学習する。 グループワークの展開過程で用いられる専門技術について学習する。 グループワークの展開過程で用いられる専門技術について学習する。 グループワークの展開過程で用いられる専門技術について学習する。	SB0 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他	!>	
教科書 (必ず購入する書籍)	第1回講義の中で、提示	でする。				
参考書	黒木保博 [ほか] 著 武井麻子著『「グルーフ		術:対人援助のための7 書院, 2002年	7の方法』 中央法規出版。	2001年	
その他の資料						
【評価方法】		【履修上の留意点】				

出席状況及び受講態度(40%)

最終試験(60%)

講義に関係のない私語は他の履修者の学習権の侵害になることをに十分留意すること。